

2019年度 秋季入学「租税法」

【出題意図】

租税法の問題は、全部で5問出題している。受験者は、試験時間90分で5問中2問の解答をする。

第1問および第2問は、選択必修問題とし、租税法の基礎的問題である。そして、第3問、第4問および第5問は、選択問題とし、租税法の今日的問題等に関する問題である。受験生のうち大学学部卒業見込者等(社会人以外の一般受験者)は、選択必須問題2問を選択することにより、租税法テキストに記述されている租税法基礎知識を習得していれば、合格レベルの答案が作成できる。また、税理士試験科目合格者等の社会人受験者は、税実務知識経験がある者であることから、今日的租税法問題を内容とする選択問題への解答可能性が高いことが予想されるが、大学院での講義内容等を考慮し租税法基礎についての学説等の理解も必要であり、選択必須問題への解答を求めている。